

JESCO 施設における「長期保全計画」の取組み状況について（令和 2 年度）

1. 長期保全計画の作成について

当社では、平成 26 年 6 月に変更された「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画」に基づき、処理設備の経年的な劣化に対応するため、長期保全計画を策定し、この計画に沿って設備や部品等の補修・更新を実施することにより、処理施設の安定操業に努めている。なお、長期保全計画については、毎年度実施している定期点検における点検・補修結果や日常点検の結果等を踏まえて図 1 に示すような PDCA サイクルによる見直しを行い、処理設備の状況に応じた適切な保全に努めている。

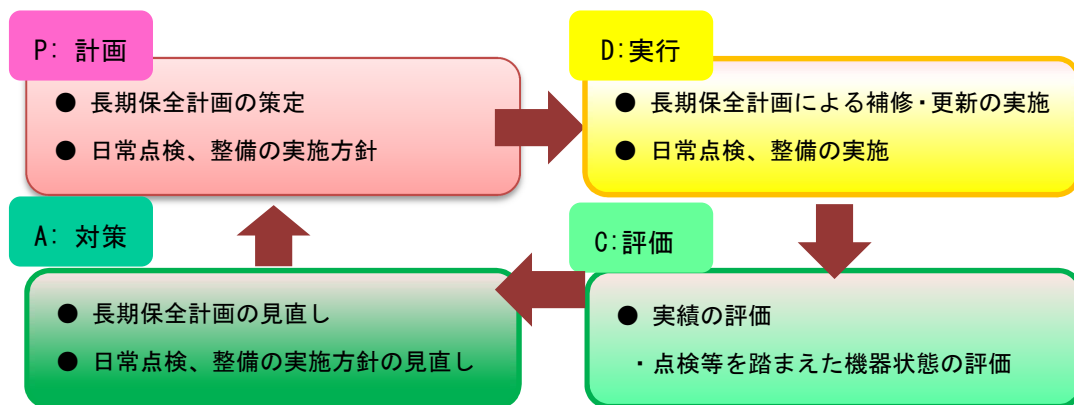


図-1 長期保全計画のPDCA

2. 各PCB処理事業所における長期保全計画の実施状況

各PCB処理事業所の「長期保全計画」に基づく令和2年度の主な経年劣化対策工事の実施項目及び令和3年度以降の予定項目を以下に示す。

(1) 北九州PCB処理事業所（別紙1 表-1、表-2参照）

1) 第1期処理施設

第1期処理施設では解体撤去時に必要となる設備を対象として、令和2年度には用役・換気空調設備及び特高（66kV）受変電設備の老朽化対策、建屋老朽化補修を実施している。

令和3年度も引き続き、用役・換気空調設備及び特高（66kV）受変電設備の老朽化対策、建屋老朽化補修を計画している。

2) 第2期処理施設

プラズマ熔融分解設備は、令和2年度には1系・2系設備とも分解炉ダクトの耐火物補修、水冷ダクトの缶体更新を実施している。

令和3年度は引き続き分解炉ダクト、恒温チャンバの耐火物補修、1系プラズマトーチのオーバーホール等を計画している。

共通設備では、令和2年度には計装用空気圧縮機、窒素用圧縮機の部品交換、VTR設備の配管更新を実施した。

令和3年度も引き続き計装用空気圧縮機、窒素用圧縮機の部品交換、VTR設備の配管更新を計画している。

(2) 豊田PCB処理事業所（別紙2 表-3参照）

令和2年度には、蒸留設備の第2溶剤回収塔リボイラの分解整備、用役設備等の点検整備を実施した。

令和3年度は、用役設備、蒸留設備、解体設備等の点検整備を計画している。

(3) 東京PCB処理事業所（別紙3 表-4参照）

令和2年度には、洗浄設備の弁交換、水熱分解設備の弁整備及び交換等を実施した。

令和3年度は、水熱分解設備の弁整備及び交換、計装設備のシーケンサー更新等を計画している。また水熱分解設備の蒸気漏洩トラブルを受けて、腐食減肉調査を追加実施し、減肉箇所の交換あるいは肉盛り補修を行う。

(4) 大阪PCB処理事業所（別紙4 表-5参照）

令和2年度には、洗浄装置の超音波振動子交換、VTR設備の真空凝縮器の更新等を実施した。

令和3年度は、解体撤去準備作業により発生する高濃度廃棄物等の処理を視野に入れ、洗浄装置の超音波振動子交換等を計画している。

(5) 北海道PCB処理事業所（別紙5 表-6～表-8参照）

1) 当初施設（トランス・コンデンサ処理設備）

令和2年度には、真空加熱炉・副反応槽の部品の交換、冷却塔の補修等を実施した。

令和3年度は、反応槽キャンドポンプの交換、真空超音波洗浄装置・副反応槽の部品交換等を計画している。

2) 増設施設（プラズマ溶融分解設備）

令和 2 年度には、分解炉ダクトの耐火物更新、2 系プラズマ電源装置のオーバーホール、オンラインモニタリング設備（1 系統）の更新等を実施した。

令和 3 年度は、恒温チャンバの耐火物更新、オンラインモニタリング設備（1 系統）の更新、UPS・非常用発電機のバッテリー交換等を計画している。

以 上